

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020 年 7 月 30 日作成 第 4.0 版

<p>研究課題名</p>	<p>膵・消化管神経内分泌腫瘍の Tumor infiltrating lymphocytes と Programmed cell death 1 の発現</p>
<p>研究の対象</p>	<p>対象は男女 20 歳以上、1999 年以降の横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民医療センターにおける膵・消化管神経内分泌腫瘍の既手術症例</p>
<p>研究目的 ・方法</p>	<p>膵・消化管神経内分泌腫瘍患者における局所免疫状態と PD-1、PD-L1 発現の有無および MSI を明らかにし、長期予後との関連を検討します。 切除術を行った既存腫瘍検体（横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民医療センター）を用いて、TIL と macrophages、PD-1、PD-L1 等、抗腫瘍免疫に関連する抗原の免疫染色を行います。これら免疫染色の結果と臨床病理学的因子との相関を評価します。</p>
<p>研究期間</p>	<p>西暦 2015 年 9 月 7 日 ～ 西暦 2022 年 8 月 31 日</p>
<p>研究に用いる 試料・情報の 種類</p>	<p>登録された患者さんの病状、検査結果、予後調査などの診療情報</p>
<p>外部への 試料・情報の 提供</p>	<p>外部への試料・情報の取得と保管はありません。</p>
<p>外部からの 試料・情報の 取得と保管</p>	<p>上記情報は、研究参加施設より、主たる研究機関である横浜市立大学附属病院 消化器・腫瘍外科へパスワードをかけた電子データとして提供される。提供されたデータは、電子媒体で保管する場合は、パスワードを設定した電子ファイルで横浜市立大学附属病院 消化器・腫瘍外科のインターネットに接続できないパソコンで保存します。紙媒体で保管する場合は、施錠のできる保管庫等で保管します。このパソコンや紙媒体が保管されている部屋は、入室が管理されており第三者が立ち入ることはできません。 また、本研究に関する文書および記録（倫理委員会の記録、同意文書、症例報告書など）は、少なくとも本研究の終了日から 5 年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から 3 年後のいずれかの遅い日までの期間、上記方法で厳重に管理します。 また、保存期間終了後に廃棄する際は、パソコン上で保存している情報については保存しているパソコン端末等から完全な削除を行い、紙で保管している情報はシュレッダーにて廃棄します。</p>

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

研究組織	横浜市立大学 消化器腫瘍外科学 石部 敦士 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 渡邊 純
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 消化器・腫瘍外科 （研究責任者）石部 敦士 電話番号：045-787-2800（代表）</p>	